

平成29年度 大阪市ボランティア活動振興基金 福祉課題に取り組む調査研究支援事業 報告会

いつまでも元気に暮らすために
～高齢者のQOL・ADLの維持・向上を目指して～

【高齢者のQOL・ADLの向上を目的とする動物介在療法】

QOL・ADLの向上、ドッグセラピーがもたらす効果を調査し分析しまとめたことを報告します

- ◆月に1回訪問し理学療法士もしくは作業療法士と相談の上、動物を介在させたリハビリレクリエーションを実施し効果検証を行う
(各回5名×5ヶ月×2ヶ所 延べ50名)
- ◆内容 散歩(歩行訓練) フラフープ(腕の筋力、握力、内腿筋アップ)、スカーフ(指先)、撫でる(腕を大きく動かす) など
- ◆5か月後理学療法士・作業療法士にヒアリングを実施し質的調査で効果検証する
- ◆文献調査

※動物介在療法とは？

動物介在療法とは、病気による、あるいは何らかの原因による問題を抱えそれを解決するゴールが設定され、そのことを目的に動物を介在させて行う補助療法です。例えば、施設に入所されている方が生きがいなくやる気のないリハビリテーションに取り組む意欲がないため、どのような作業療法プログラムにもリハビリにも参加せず生活不活発病のため体力が落ち関節可動域は減少し筋力もおちている。このような方々の廃用予防と機能改善のために重要なことはプログラムに参加する意欲を持たせることです。そのきっかけづくりに動物が介入します。

日時：2018年3月21日(水・祝)
10:30～11:00 報告会
11:10～12:00 山崎恵子先生講演会
場所：大阪ECO動物海洋専門学校

大阪市西区新町1-32-1

アクセスは→



参加費：無料

日本に動物介在活動を紹介して以来、29年間広めてきた山崎恵子先生が国内外の様々な活動事例の紹介とともに今回の検証をふまえ、この活動の未来と課題についてお話しして頂きます。



講師：山崎恵子

一般社団法人アニマル・リテラシー総研 代表理事
ペット研究会「互」主宰
優良家庭犬普及協会 常任理事
米国ペットパートナーズ協会 認定元インストラクター
動物介在療法コーディネーター
新潟国際ペットワールド専門学校特別講師
動物に関する執筆、講演、講義、
翻訳、通訳に幅広く活躍中



野口裕美

理学療法士
作業療法士

四条啜学園大学
リハビリテーション学部
NPO法人日本補助犬
情報センター理事

いつまでも元気に暮らすために

～高齢者のQOL・ADLの維持・向上を目指して～

◆QOL・ADLの維持向上

高齢者と動物のふれあいの場を提供し精神面とリハビリテーションの手助けをする動物介在活動・療養は希望の喪失や無力から立ち直らせてくれます。また生活リズムを支え社会的な接点を生み出します。施設に入ることによって外部に出るきっかけもなくなり特に楽しみもなく活動性が低下しやすくなりがちです。そこで犬を介在させることで外部の人とも接触し、癒しと刺激でこころとからだに元気と活力を与えることができます。

◆活動性をあげるきっかけづくり

居室にひきこもりがちな方をフロアまで出てきて頂き、楽しい時間を過ごしていただくために、どうしても人では断られてしまいがち。犬と一緒に居室までお迎えに行くことで、断られることが減り、より活動性をあげることができます。

◆介護スタッフの癒し効果

施設の介護スタッフの方も日頃のハードワークやストレスを抱えており犬が訪問することで施設内のスタッフへの癒し効果になります。

◆ドッグセラピー（動物介在活動・動物介在療法・動物介在教育）

ドッグセラピー開催・セラピスト養成講座開催

◆わんわんパトロール

愛犬とお散歩しながら地域の子どもと町を見守ります。

◆専門家を招いてのセミナー・ワークショップ開催

笑顔あふれる愛犬とのしあわな暮らしのためのセミナー等を外部講師を招いて開催している。



<http://cocorudogjimdo.com>

特定非営利活動法人 心織（こころ）

お 申 込 書

氏 名

連絡先

メール
アドレス

都道府県・市・区までご記入ください

住 所

会社名

所属

役職

その他

ご記入の上、06-7161-3465 までFAXしてください